



野菜販売にご協力ください



どうして野菜販売が必要なの？

山口県聴覚障害者福祉協会後援会では、毎年開催される、山口県聴覚障害者情報センター祭りで、いろいろな販売をして、その収益を後援会に寄付していました。

しかし、新型コロナウイルスの影響で、情報センター祭りが開催できなくなりました。また、一昨年台風の時も祭りが中止になったので、友の会では野菜を販売して、収益を後援会に寄付しました。



山口県聴覚障害者福祉協会後援会とは何？

昭和51年 全日本ろうあ連盟は、中央・地方に公立の聴覚言語障害総合センターを設置するように国に働きかけました。その強い要求運動で、国は身体障害者福祉法を改正して、聴覚障害者情報センターの建設を制度化しました。

これを機に、山口県でも聴覚障害者に関わる団体で、「情報センターの建設を進める会」を結成して。団体会員に情報センターの必要性を訴えながら募金活動をしました。2,000万円ものお金を集めたこともあり、山口県も動きだし、平成11年10月1日に「山口県聴覚障害者情報センター」を開所することができました。そして、平成12年5月28日に後援会設立総会を開催しました。

なぜ寄付が必要なの？

情報センターを運営管理する山口県聴覚障害者福祉協会の財政や事業を応援する目的で後援会を立ち上げました。

情報センターの開所当時は2,500名もの会員でしたが現在では1,000人にも満たない状況です。山口県聴覚障害者福祉協会が指定管理を続けていくためにも、後援会の支援が必要です。



野菜販売はいつどのようにするの？

11月25日(水)しらすぎ会館の多目的教養室と研修室で、密集にならないようにして、販売します。また、せっかくおいでになる皆様へ少しでも手話学習していただくために、DVDを見ていただきます。

野菜は新鮮なものをお安く準備しますので皆様のご協力よろしく願いいたします。

